学習テーマ

主な関連項目:普遍 -

、個別一

めざせ! 昔遊びの達人

< 小学校第1 · 2 · 3 学年 >

目的

昔遊びの体験を通して、お年寄りの知恵やすばらしさに気づく。 自分が得意になれる遊びを追究する。

友だちのよさに気づくとともに、自分もがんばろうとする気持ちをもつ。

活動を通して自分のよさを表現し、自尊感情を高める。

< 気づ(>

老人クラブのみなさんと昔の遊びをしよう

昔の遊びを通して、地域のお年寄りのみなさんとふれあう。 自分が得意になれる遊び(技)を見つける。 1・2年生での 生活科との関連 「昔遊び」

地域での昔の 遊び体験

<広げる深める>

昔遊びの達人になろう

活動に没頭したり、繰り返したり、仲間に広げたりしながら自分が得意になれる遊び(技)を追究しようとする。

友だちのよさや、自分のよさや可能性に気づかせる。

老人クラブの方々の力を得ながら、困難や課題を乗り越え、活動に没頭したり、繰り返したりして、遊びを高め追究する。

道徳との 関連 (不とう不屈)

> 老人クラブの 方々の力も借りながら、 もたちが困難や課題を乗り 越えられる。 う支援する。

< 計画する >

「昔遊びの達人発表会」の準備をしよう

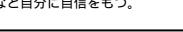
他学年の人にわかりやすく説明したり、いっしょに楽しく遊んだりするため の工夫を考える。

発表会を成功させるために、友だちと協力してすすめる。

<実践する>

「昔の遊び達人発表会」をしよう

自分の得意な遊び(技)をわかりやすく紹介しようとする。 「難しいことに挑戦した。できるようになった。いっしょうけんめい聞いてくれた。 最後までできた。」など自分に自信をもつ。



<振り返る>

遊びを広げよう

遊びを「縦割り活動」「他学年(学級)との交流」「地域の方々との交流」などに広げていこうとする。

どの子も活躍できるように子どもの動きがある。